



2学期が始まりました ～コロナ禍に負けずに～

8月30日、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令中に2学期が始まりました。県立学校では感染拡大を防止するために、時差登校や短縮授業をすることになりました。本校では、電車やバスを利用している生徒が時差登校をすることが困難であるため、当面の間、登校は通常の時間とし、短縮授業で対応することにしました。感染の状況によっては分散登校の可能性もありますが、「感染しない 感染させない」ために、基本的な感染防止をお願いいたします。

緊急事態宣言発令中においても、引き続き感染防止対策を徹底しながら教育活動を実施いたしますが、部活動や校外での活動には制限があります。2学期に予定されている各種学校行事については、延期や中止、実施方法の見直しが避けられません。特に、2年生の修学旅行は、現時点で10月の実施は極めて困難だと判断し、3月に延期することにいたしました。一方、3年生は就職や進学など進路を決定する重要な時期を迎えています。安心して試験に臨めるように、面接練習を始めとする進路対策については万全を期し、希望する進路が実現できるように取り組みを進めます。

さて、本校の会議室には一面の扁額（書）が掲げられています。揮毫は判読出来ず作者は不明です。この扁額に書かれているのは、アメリカの実業家・詩人のサミュエル・ウルマンが78歳の時に書いた「青春」（または「青春の詩」）という詩です。とても素晴らしい詩ですので、原文と日本語訳で紹介いたします。本来はもう少し長いのですが、紙面の関係で冒頭の部分のみを掲載します。日本語訳はいくつかありますが、言葉が平易で最も読みやすいものを選びました。

Youth Samuel Ullman

Youth is not a time of life ; it is a state of mind,
it is not a matter of rosy cheeks, red lips and supple knees,
it is a matter of the will, a quality of the imagination, a vigor of the emotions,
it is the freshness of the deep springs of life.

青春 サミュエル・ウルマン 作山宗久 訳

青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方をいう。
ばらの面差し、くれないの唇、しなやかな手足ではなく、
たくましい意志、豊かな想像力、もえる情熱をさす。
青春とは人生の深い泉の清新さをいう。

あっという間に過ぎ去る高校の3年間。コロナ禍という困難な状況の中ですが、生徒の皆さんには高校生らしい「真の」若者らしく、充実した高校生活を送って欲しいと思っています。